



大野一心

NO.15

令和5年6月14日（水） 文責：校長 諸熊 修一

これまでの家庭学習+30分

今年度の市中体夏季大会は水泳競技を残すのみとなりました。明後日実施される水泳競技に参加する選手の皆さんは、自己記録の更新を目指して自身の限界に挑んでください。

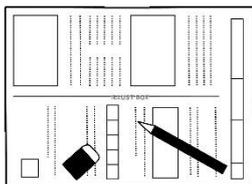
さて、来週からは今年度第1回目の定期テストが始まります。特に1年生の皆さんにとっては、初めてのテストになるので、緊張している人もいるのではないのでしょうか。

昨年度の2学期から「これまでの家庭学習+30分」の取組を呼び掛けてきました。今年度も引き続き取り組んでいきます。特に今日からはテスト1週間前になります。これまで、ほとんど家庭学習をしていなかった人は、30分で構いません。1時間や2時間以上学習をしていた人は、30分だけ伸ばしてみてください。例えば、その30分で「やればできる」のプリントを繰り返し解いてみる。テスト範囲の英単語や漢字を覚える。あるいは数学の計算問題を繰り返し解いてみるなど、30分あればできることがたくさんあります。

「塵も積もれば山となる」です。その30分が積み重なって、必ず定期テストの結果につながってきます。ご家庭においてもお子様の家庭学習の習慣化について、ぜひお力添えをお願いします。



「やればできる」プリントの取組について



本校では、定期テストにおいて各教科で出題する約10点分（1割程度）の問題を、事前に生徒へ渡して学習させる取組を昨年度から実施しています。家庭学習で何をしていたかわからない生徒や勉強が苦手な生徒に学習意欲を持たせ、そのプリントを勉強すればするだけ確実に成果となって返ってくるという達成感を抱かせるためです。教科担当は、単元等で最低限これだけは理解しておいてほしいという問題を精選しています。生徒の皆さん、やればできる！

【校長のひとこと】

5月下旬に東京へ出張しました。夜に時間が空いたので学生時代の友人たちと一緒に食事をとりながら、ここには書けないような40年程前のバカ話に花が咲きました。まだ20歳前後の頃の話です。その頃は、自分が青春ど真ん中にいるとは全く思っていませんでしたが、「青春時代」っていうのは後になってから気付くものですね。フランスのある詩人は「湖に浮かべたボートをこぐように人は後ろ向きに未来へ入る」と詠（うた）っています。久しぶりに若い頃の自分に会った楽しい一時でした。

